
パパの心中 ～運動会～

保科 郁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パパの心中 〜運動会〜

【Nコード】

N8626C

【作者名】

保科 郁

【あらすじ】

子供の駆けつこを応援しているパパさんの心の中。ほのぼの？10月なので、テーマ運動会で書いてみました。

ぱぁん！！

軽い発砲音が鳴り響くと、いっせいに幼い子供たちが走りだした。その中で先頭に飛び出したのはもちろん我が息子、智也だ！！

よし、さすが智也！

そのままゴールまで走りぬけ！！

だがそくぎに別の影が 智也の横に割り込んできた。あれは につくき八百屋の息子、秋良君あきらではないか。隣を見れば、にやり…と口元をゆるめる八百屋。

くそっ！ 秋良君に負けるな智也！！ 頑張れ！！

そんな俺の応援も虚しく、徐々に追い抜かれていく智也。隣の八百屋はもう満面の笑みだ。悔しさで歯噛みしたい気分になるが、今はそれよりも応援だ！再びグラウンドに視線を戻すと、智也の行く先に石が……

危な…っ！？

俺が言葉を発するよりも早く、智也は派手に転んでしまった。

ぐっ……なんで あんな所に石が！ この学校は、グラウンドの整備もしていないのか！！ これで智也の勝利は…

いや、そんな事を考えている場合じゃない。智也は無事なのか！？

息子は泣くこともせず、自力で立ち上がろうとしていた。
どうやら ひどい怪我とかはしていないようだ…。

胸を撫で下ろした俺の耳に、ふっ…と鼻で笑う八百屋の声が聞こえた。

それはいかにも智也を馬鹿にした、とろくさい息子だな…とでも言いたげな笑い方だった。

そくさに頭に血が上った俺は、八百屋の胸ぐらを掴もうとした所でグラウンドの異変に気付いた。

そのまま走り続ければ一位 确实だった秋良君が、戻ってきて智也に手を差し出していたのだ。

智也はその手を借りて立ち上がると、そのままゆっくり走りだした。そして皆が見守るなか、二人は一緒にゴールした。

グラウンドは割れんばかりの拍手に包まれた。

ふと隣を見れば、八百屋はバツが悪そうに顔をゆがめていた。こいつに似ず、秋良君はなんていい子に育ったのだろう。

……仕方ない。さっきの事は秋良君に免じて許してやるか。

怒りを収めた俺は、皆と同じように拍手をしながら息子達を迎え入れたのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8626c/>

パパの心中 ～運動会～

2010年10月29日01時54分発行